

令和5年度 厚生労働科学行政推進調査事業費（障害者政策総合研究事業）
分担研究報告書

発達障害の診療を行う医療機関に関する情報収集及び提供
当事者及び家族の情報ニーズへの対応

研究協力者 与那城郁子、赤塚 望、山脇かおり 国立障害者リハビリテーションセンター

研究要旨

発達障害の当事者・家族向けの情報検索ツールの開発に伴い、当事者や家族の情報ニーズの把握を行った。情報ニーズとして高かった発達障害の診療を行う医療機関情報を収集し、許諾の得られた機関の情報について、情報検索ツール上で公開した。

A. 研究目的

令和4年度に筆者らが実施した発達障害の当事者及び家族の情報ニーズ調査（文献1）の結果、同障害の診療を行う医療機関情報のニーズが多いことが明らかとなった。そこで、本調査では、発達障害の診療を行う医療機関情報の提供を目的とし、調査を行った。

上記合計 2,679 機関に調査票を郵送した。調査項目は、「機関情報公開の可否、電話番号等の基礎情報、診療にあたる科、診療可能な年齢、行っている診療内容、作成可能な診断書、診療にあたっての必要事項、外国語対応の有無（対応可能言語）、その他留意事項など」の9項目とした。

B. 研究方法

発達障害の診療を行う医療機関について、下記3種類の情報資源より都道府県ごとに対象を決定した。

- ① 各都道府県が作成する「発達障害の診療を行う医療機関リスト」に掲載されている医療機関
- ② 子どものこころの診療機関マップ（子どもの心の診療ネットワーク事業／<https://kokoro.ncchd.go.jp/>）において、診療内容・専門領域の項目のうち、「発達の問題（こだわり、不注意、多動など）」にチェックが付され、かつ、①に掲載されていない医療機関

（倫理面への配慮）

本調査は、公開可能な医療機関情報のみを取り扱う。

C. 研究結果

852件（31.8%）から回答を得た。
[公開可否] 可は674件（79.1%）、不可は178件（21.0%）であった。

[診療科] 可674件のうち、精神科359件、小児科229件、心療内科151件、児童精神科81件、内科21件、小児神経科18件、リハビリテーション科15件、子どものこころ診療部（科）15件、児童・思春

期精神科 7 件、小児精神科 7 件、精神神経科 7 件、小児神経内科 6 件、神経内科 5 件（腹水回答）であった。また、標榜科名に「発達」と付されたものは計 6 件であった。

〔診療内容〕 行っている診療内容（複数回答）は、診断 634 件、アセスメント（知能検査等） 537 件、カウンセリング 455 件、薬物療法 610 件、集団療法 100 件、家族向けプログラム 111 件であった。

〔作成可能な診断書〕 各機関で作成可能な診断書（複数回答）については、精神障害者保健福祉手帳 558 件、自立支援医療 566 件、障害支援区分認定の意見書 473 件、特別児童扶養手当 493 件、障害児福祉手当（精神の障害用） 401 件、特別障害者手当（精神の障害用） 348 件、障害年金 468 件、成年後見用 269 件であった。

〔外国語対応〕 外国語での診療に対応している機関は 143 件（21.2%）であった。対応言語別（複数回答有）の内訳は、英語 130 件、中国語 7 件、ポルトガル語 6 件、ベトナム語 5 件、フランス語 4 件、スペイン語 4 件、ドイツ語 2 件、カンボジア語、フィリピン語、タガログ語、ハングル（韓国語）各 1 件。また、タブレット等の ICT 機器を使用して外国語での診療に対応する医療機関は 8 件、通訳者の用意があれば対応可としている医療機関は 3 件であった。

これらの結果を情報検索ツール「ココミテ (KOKOMITE)」(文献 2) にて公開し、都道府県・政令指定都市、ライフステージご

とに医療機関情報を検索できる仕組みとした。

D. 考察

回収率は約 3 割程度と決して高くはないため、未返信の医療機関に対して再通知を行う予定となっている。発達障害の診療を担当する科（担当者）まで、調査協力依頼の封書が届いていない事案があることが分かり、未返信理由のひとつとなっていることが推測された。

また、情報掲載不可と回答した医療機関のうち、理由が記載されていたものについて整理をしたところ、診療の受け入れキャパシティの問題や、医療機関の体制の問題等で掲載不可とせざるを得ない状況があることも明らかとなった。

E. 結論

本調査では、発達障害の診療を行う医療機関情報の提供を目的として調査を行い、許諾の得られた機関の情報を Web サイトで公開した。

文献

1. 与那城郁子, 赤塚望, 山脇かおり. 発達障害の当事者・家族向け情報検索ツール「ココミテ (KOKOMITE)」の開発(1). 日本発達障害学会第 58 回研究大会. 京都. 2023. 11. 4-5
2. 情報検索ツール「ココミテ (KOKOMITE)」
<https://hattatsu.go.jp/libraries2/>

F. 研究発表

赤塚望, 与那城郁子, 山脇かおり. 発達障害の本人・家族向け情報検索ツール「ココ

みて(KOKOMITE)」の開発(2) 発達障害の診療を行う医療機関情報の収集手続きと結果について、日本発達障害学会第58回研究大会、京都、2023.11.4-5

G. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

なし